

## 2. 各特別勘定の運用状況

### 日本株式型特別勘定 運用状況 (2009年9月末現在)

#### 運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

#### 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	16,514,281	97.3%
現預金・その他	450,798	2.7%
合計	16,965,079	100.0%

#### 運用状況

2009年9月の国内株式市場は、TOPIX(配当込み)で前月比5.10%下落しました。景気持ち直しの動きは一部経済指標で確認されたものの、金融機関の増資が懸念されたことや円高の進行から、日経平均は月間で359円下落し10,133円で9月の取引を終了しました。このような市場環境の中、当特別勘定は4.47%下落しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、バリュウ運用を行う「日本株バリュウマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

9月は「モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I」を全売却(償還)し、「ラッセル日本株式ファンドI-3」、「日本株バリュウマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への入れ替え(購入)を行いました。

10月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

#### ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
88.94898373	▲4.47%	▲0.36%	+21.50%	▲9.89%	▲39.47%	▲14.43%	▲11.05%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

#### ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



#### ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (65.9%) : p15上段
日本株バリュウマルチマネージャーファンド (17.7%) : p16上段
SGターゲット・ジャパン・ファンド (13.7%) p16下段
現預金・その他 (2.7%)

※モルガン・スタンレー日本株式グロース・ファンド I は  
2009年9月28日に償還致しました。: p15下段

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

#### ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/28ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。